

平成 27 年度第 3 回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成 27 年 12 月 11 日（金）14 時 30 分～16 時 35 分
開催場所：長野市リフレッシュプラザ 3 階大会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付及び委員紹介
- 3 環境部長あいさつ
- 4 事務局自己紹介
- 5 正副会長選出
- 6 正副会長あいさつ
- 7 議 事
 - (1) 一般廃棄物処理基本計画等について
 - (2) ごみ処理の概要について
 - (3) し尿・生活雑排水処理の概要について
 - (4) 長野広域連合 A 焼却施設の整備及び運営事業について
 - (5) 今後の審議会の開催予定について
- 8 その他
- 9 閉 会

【会議資料】

- ・資料 1 審議会に関する法律・条例・規則（抜粋）
- ・資料 2 長野市廃棄物減量等推進審議会委員名簿
- ・資料 3 事務局職員名簿
- ・資料 4 長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版
- ・資料 5 長野市一般廃棄物処理基本計画
- ・資料 6 平成 27 年度 長野市一般廃棄物処理実施計画
- ・資料 7 平成 27 年度 長野市ごみ処理概要（平成 26 年度結果）
- ・資料 8 平成 27 年度 長野市し尿処理概要（平成 26 年度結果）
- ・資料 9 長野広域連合 A 焼却施設の整備及び運営事業について
- ・資料 10 平成 28 年度 審議会開催計画（案）

- ①長野市清掃センター施設案内（パンフレット）
- ②長野市衛生センター施設案内（パンフレット）

【出席委員】 13 名
【欠席委員】 2 名
【事務局】 15 名
【報道・傍聴者】 1 名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

◇会議の成立と公開について報告（事務局）

◇資料1「審議会に関する法律・条例・規則（抜粋）」により説明（事務局）

2 委嘱書交付及び委員紹介

◇委嘱書交付は、時間の都合上、事前に配布（事務局）

◇資料2「長野市廃棄物減量等推進審議会委員名簿」により紹介（事務局）

3 環境部長あいさつ

一部の委員には、審議会に先立って清掃センターを見学いただき、感謝申し上げます。

新しい任期が始まり、本来であれば市長が挨拶を申し上げるべきだが、本日、所用があるため、代わって挨拶を申し上げます。

日頃から長野市の行政、とりわけ環境行政に深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本審議会は、平成17年に設置されこの度6期目となり、15名の委員の皆様にご就任いただいた。2年間の任期となるが、よろしく願います。

現在パリでCOP21が開催されているが、近年の異常気象の要因の一つに地球温暖化が挙げられる。環境部として温暖化対策についても精一杯取り組んでいきたい。

本市のごみ処理については、平成21年10月から家庭ごみ処理手数料有料化を導入するとともに剪定枝葉の分別収集を開始し、ごみ減量と資源化の推進に努めている。当初は、有料化後にごみ量のリバウンドも懸念されたが、おかげさまで家庭系ごみの減量が維持されており、市民の皆様には厚く御礼申し上げます。一方、事業系ごみは、景気との兼ね合いもあり微増傾向にある。

平成23年度に長野市一般廃棄物処理基本計画を策定し、一般廃棄物の適正な収集・処理に取り組んでおり、平成26年度には、計画の進み方や一般廃棄物をめぐる社会情勢の変化を踏まえ、中間見直しを実施した。その際には、この審議会でも様々なご意見をいただき改めて感謝申し上げます。この一般廃棄物処理基本計画は、平成28年度末をもって期間が満了するため、次期計画の策定について、今後ご審議をお願いしたい。

し尿や生活雑排水の生活排水対策については、全戸水洗化を目指して、公共下水道、農業集落排水事業等の整備により促進を図っている。水洗化の進展により、し尿収集量は減少しているが、未水洗地域に対して最後まで適切に対応できるよう、適正かつ安定的なし尿の収集・処理の体制確保が求められている。生活排水の収集については、ごみと同様に手数料をいただいております。来年には手数料の見直しをする時期を迎えるため、来年3月頃に審議会を開催し、利用者負担のあり方等についてご審議をお願いしたい。

以上のように、来年1月以降には、これら2つの大きな審議事項についてご審議をいただくことになる。そのためには、2つの専門部会を設けてご審議いただく必要があると考えており、委員の皆様には、本会に加えて、いずれかの専門部会にご参画いただきたくお願いしたい。

本日は、ごみ及びし尿の処理基本計画や概要、長野広域連合による新焼却施設の整備状況などについて説明申し上げます。長時間にわたるが、よろしく願います。（環境部長）

4 事務局自己紹介

◇事務局職員による自己紹介（所属長のみ）

◇資料3「事務局職員名簿」により割愛（事務局）

5 正副会長選出

（委員） 前任期で本審議会の副会長をお務めになり、専門部会長として一般廃棄物処理基本計画の見直しや一般廃棄物処理手数料の改定等にご尽力いただいた、信州大学工学部

の松本委員を会長として推薦申し上げる。

《拍手で賛同の意を表明》

(事務局) 委員皆さんの賛同をいただいたので、松本委員に会長をお願いしたい。続いて、副会長の選出について意見等あればお願いする。

(委員) 長きに渡り本審議会委員としてご尽力いただいている、信州大学教育学部の三野委員が副会長として適任と思われるため、推薦申し上げる。

《拍手で賛同の意を表明》

(事務局) 委員皆さんの賛同をいただいたので、三野委員に副会長をお願いしたい。

6 正副会長あいさつ

(会長) 今年度から来年度にかけては、一般廃棄物処理基本計画の策定や、し尿等収集手数料の改定等がある。また、平成31年は、長野広域連合の新焼却施設が完成する節目の年となるため、基本計画の策定においては、広域による処理というところを意識しながら、諸々決めていく必要がある。

一般廃棄物行政に関して、本市は先進的な都市である。本市にふさわしい計画、施策というものを目指して、皆様のご協力と活発なご審議をお願いしたい。

(副会長) この2年間、良い意見を皆さんとともにまとめていきたい。どちらかという廃棄物関係は専門外ではあるが、一般主婦、長野市民としてどうしていくべきか考えながら、意見を申し上げたり、取りまとめをしていけたらと思う。

7 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画等について及び(2) ごみ処理の概要について

◇資料4「長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版」、資料5「長野市一般廃棄物処理基本計画」、資料6「平成27年度 一般廃棄物処理実施計画」、資料7「平成27年度 長野市ごみ処理概要(平成26年度結果)」により説明(事務局)

<以下、質疑応答>

(委員) 長野市のごみ処理に関する内容が配布資料に詳しくまとめられているため、今後専門部会等でもお持ちいただければ非常に参考になる。

(委員) 処理基本計画における数値目標について、平成25年度実績を踏まえると多少厳しい数値となっているが、平成26年度も、長野県神城断層地震関連のごみを除けば減量傾向は維持されているとのことなので、可燃ごみ等への資源物の混入率をもう少し減らすことができれば、目標達成に近づくのではないかとと思われる。

例えば、油などの汚れが付着したプラスチック製容器包装を熱心に洗うと水の汚染に繋がるため、水環境の保全を考慮し、分別せずに可燃ごみとして出すという考え方もある。そういったことを市民がどう考えるかによって変わってくると思うが、リサイクル率等の目標達成に向けて、資源物の混入割合をもう少し改善していくことに主眼を置くべきか。

(事務局) リサイクル率は、ごみ総量に対する資源化処理した量の比率であるが、広告の減少や、スマートフォンの普及等に伴う新聞離れの影響もあり、資源物量の多くを占

めている古紙そのものが減少している。そのため、リサイクル率は目標達成が困難と思われる。また、焼却灰の一部を資源化処理しているが、埋め立てよりも資源化処理するほうが多くの費用がかかることも考慮する必要がある。

そういった難しい部分もあるが、まだまだ資源化できるものがあるのは事実であるため、力を入れていかなければならない。

(委員) 事業系ごみについても、連携して減量に取り組んでいくべきだが、家庭系ごみについても、分別意識をさらに高めるような方策を検討する必要がある。

(事務局) 家庭系可燃ごみの重量を増やす一番の要因は生ごみである。生ごみを可能な限り減らすために、段ボール箱を使った生ごみ堆肥化の普及啓発や、生ごみ処理機やコンポスト等の購入に対する補助金制度などを推進してきたが、新たな施策がなかなか見出せない状況にある。フードバンクも普及してきているが、食べ残しなどの無駄を無くしたり、ごみを発生させないリデュースの取り組みに関しては、今後力を入れていく余地はあるかもしれない。

(委員) プラスチック製容器包装の分別開始や有料化導入などの節目においては、地区のごみ集積所の状況からも、ごみの減量が見て取れた。ただし、最近の傾向として、一般家庭から出るごみは減っているが、単身赴任者や学生などの単身世帯から出るごみは、分別されていないものが比較的多い。最近では、従来から長野市に住んできた一般家庭が減り、他自治体から転入してくる単身世帯が増えている。単身赴任者や学生などの単身世帯は数年で転居するし、以前住んでいた自治体と分別方法が違う場合もあり、分別指導が行き届かない。一般家庭のごみの減量は限界がきているため、事業系ごみや単身世帯のごみに対する効果的な減量方策を検討していくべきである。

(委員) 昔からの隣組が成り立っている地域は、ごみが正しく出されており、ごみ集積所も整理されている。一方で、隣組長をできるような世帯が少ない地域では、分別が徹底されておらず、目も当てられない状況のところが多い。そのような地域において、どのように分別を徹底させていくのか悩ましい。

(委員) 小学校、中学校の教育を見直して、子どもの頃から教えていくことも大切である。

(委員) 今でも、小中学校等では集団資源回収を通じて、分別の大切さに関する教育がなされているが、もっと普及していけば良い。

(委員) 清掃センターの見学をした小学生の感想文を読んだが、同センターを見学してもらうことは、子どもにとって良い学習になると思う。集団資源回収に関しては、学校が行うと子どもも協力的になるが、地域で行うと親の負担が大きい場合も多いと聞く。報奨金だけではなく、プラスアルファの頑張ったお礼のようなものをほんの少し市からいただくと、地域においても子どもたちの意欲向上に繋がるのではないかな。

(委員) LEDが普及してきている。寿命が長いと言えどいずれ交換する必要がある。あれは何のごみに分別すればよいか。

(事務局) LEDは不燃ごみになる。

(3) し尿処理の概要について

◇資料8「平成27年度 長野市し尿処理概要(平成26年度結果)」により説明(事務局)

(4) 長野広域連合A焼却施設の整備及び運営事業について

◇資料9「長野広域連合A焼却施設の整備及び運営事業について」により説明(事務局)

(5) 今後の審議会の開催予定について

◇資料 10「平成 28 年度 審議会開催計画 (案)」により説明 (事務局)

◇次回の第 4 回審議会は、1 月 19 日 (火) 午前 9 時 30 分から開催を予定したい。(事務局)

6 その他

○「容器包装リサイクル制度説明会」について、開催案内 (委員)

○本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。
(事務局)

7 閉 会

(16 時 35 分閉会)